

家族経営協定を新たに4戸が締結しました

1 普及活動のねらい

経営の方針や家族一人ひとりの役割、就業条件・就業環境について、家族みんなで話し合いながら取り決める「家族経営協定」を活用し、現状を認識した上でそれぞれの家族にあったルールづくりを実施することで改善していくことを目的に活動した。

2 普及活動の成果

認定農業者の共同申請や新規就農をきっかけに農家4戸が新たに家族経営協定を締結した（令和7年3月末時点の海部管内における締結数は155戸）。

家族経営協定書によって役割分担や労働条件が明文化されたことによって、今後の農業経営改善への意欲が高まった。また、経営における女性農業者の役割についても明文化され、再認識された。

3 普及活動の内容

「家族経営協定」PR用の資料を作成し、市町村や農協に推進を働きかけ、対象者リストを作成した。家族の状況に変化があった農業者、新規就農者、農業経営基盤強化促進法に基づく認定農業者の共同申請希望者、農業経営士・農村生活アドバイザー・青年農業士の新規認定者等に資料等を用いて制度の概要等を説明し、家族経営協定の締結を推進した。

「家族経営協定」締結の意向と家族の合意が得られた農家に対し、「家族経営協定の協定書」の作成を支援した。

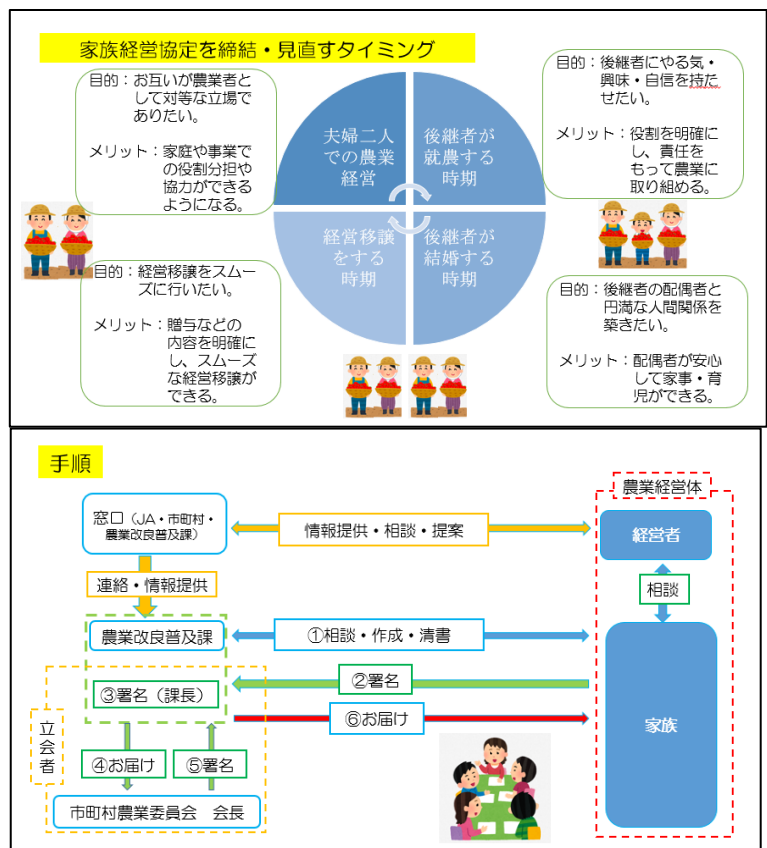


図 農家等への説明資料

重点課題名	1 海部地域の多様な担い手の確保・育成
普及事項名	（4） 仕事と生活の調和のとれた経営方針・役割分担の明確化